

# WHO ファクトシート

## 慢性閉塞性肺疾患(COPD)

Chronic obstructive pulmonary disease (COPD)

2016年11月

### 重要な事実

- ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、命にかかわる進行性の肺の疾病であり、呼吸困難(初めは努力呼吸)を起こし、悪化し重篤な疾病となりやすい。
- ・世界的には、2015年にこの疾病により約300万人(当該年における世界の全死亡の5%)が死亡したと推定されている。
- ・COPDによる死亡の90%以上は、低・中所得国で発生している。
- ・COPDの主要な原因は、たばこの煙への(主体的な喫煙か受動喫煙かにかかわらず)暴露である。
- ・その他のリスクファクターとしては、屋内、屋外の空気汚染や職場の粉じん、煙への暴露がある。
- ・COPDの一部のケースでは、長期間のぜんそくによるものがある。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Chronic obstructive pulmonary disease      ファクトシート原文は [こちら](#)